

つゆくさ 第71号

就任のご挨拶

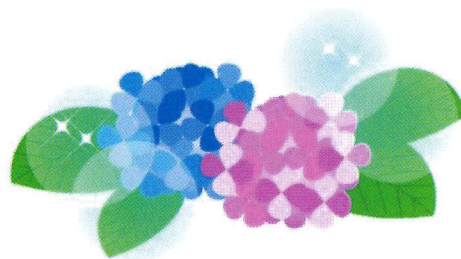
看護部長 濱田 奈緒子



令和6年4月1日付で、洞爺協会病院より異動となりました。入職された他の皆様と一緒に、院長より辞令を受け取り、心新たに身が引き締まる思いです。

看護部の新入職者11名は、7日間のオリエンテーションと集合研修を終えて、緊張感を持ちながらも決意を表明してそれぞれの部署へ行きました。先輩からの温かい指導を受けながら成長していく様子はとても微笑ましくそして遅く、その姿を見るのは、毎年の私の楽しみの一つになっています。

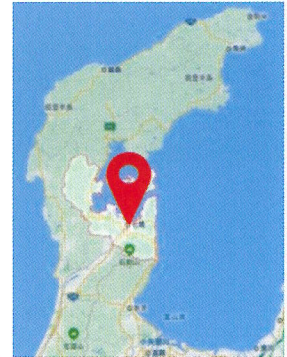
変化する時代に合わせ、高齢化が進む後志管内や小樽市内で小樽協会病院がどのような役割を求められているかを常に意識し、それに応えられる看護部でいられるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



石川県産科診療支援で学んだこと

産婦人科・医療安全管理室 黒田 敬史

令和6年1月1日、能登半島地震の被害はまだ皆さんの記憶に新しいものと思います。地震は被災地域の産科医療にも甚大な影響をもたらしました。私は1月18～21日の災害亜急性期に、石川県七尾市にある恵寿総合病院へ産科診療支援に行ってきました。



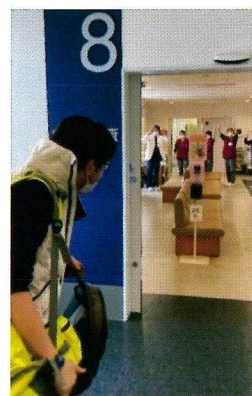
七尾市は、南北に長い石川県の南側にある金沢市と、津波の被害も受けた最北端の珠洲市の中間に位置します。JRは途中の羽咋市から不通となっており、県道も災害車両優先で渋滞するので、タクシーに乗り県道と並走する田んぼの畦道を、倒壊の恐れがあり、色紙が貼られた家屋に心を痛めながら病院へ向かいました。

産科病棟は地震による破損のため利用できなくなり、免震構造が施された新棟の内視鏡回復室を仮設病棟に、そして隣の手術室の一室を分娩室に利用していました。今や産科病棟では母子ともに個室へ入院するのが一般的ですが、仮設ゆえ流産の患者さんと産後の母子とを隔てられない、やむを得ないとはいえ過酷な環境でした。病院かかりつけ妊婦の約8割は地震被害の少ない金沢へ分娩先を紹介されていましたが、以北に住むなどの理由で恵寿病院での分娩を希望する妊産婦のため、なんとか環境を整えて分娩を維持していました。しかし患者も医療者も同時に皆被災者であり、復興の目処が立たない現状への不安や疲労に満ちた心情を多くの人から聞きました。期間中は産科医ながらお産に立ち会う機会はなく、役に立っているのだろうかという自問自答もありましたが、産科の常勤医を家でゆっくり休ませる事ができたという点では行けてよかったと思います。

被災地産科診療支援を経験して、私は大きく2つのことを学びました。ひとつは「平時の準備と連携」です。幸いにして小樽は自然災害の比較的少ない地域ですが、そのせいか当病院にしても行政にしても災害への当事者意識が低いように思うことがあります。「被害の大きさは、災害自体の大きさよりも、受け手側の要素と準備にかかっている」これは2010年アイスランド噴火を機に教訓とされた

言葉です。地域のお産を守る周産期センターとして有事に後志の産科事例に対応できる準備や、高次施設に頼りながら当病院がどんな役割を果たせるかという心構えを職員で共有しなければと思いました。

もう一つは「職員をもっと知る」ことです。有事にどれだけの職員が病院に集まれるか。これには、職員の居住地や家族構成、家庭での役割などが大きく関係してきます。日々顔を合わせる職員の事情をどれだけ知っているだろうと考えた時、自分の未熟さを思い知りました。そしてこれは災害に限ったことではなく、患者の救急対応やトラブル時にも試されるチームの鎖の強さ「レジリエンス」につながるのだと気づきました。小樽に戻り、平和な日常、そして家族やスタッフの有難みを実感しました。日常の小さな心がけや感謝こそ、誰もができる最大の災害対策なのかもしれません。



能登半島地震によって被害に遭われた全ての方々とそのご家族に心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

常勤着任医師のお知らせ (令和6年4月より)

消化器外科部長	田本 英司	(たもと えいじ)
循環器医長	夏井 宏征	(なつい ひろゆき)
産婦人科医師	高田 未咲	(たかだ みさき)
産婦人科医師	西森 貢隆	(にしもり みつたか)
小児科医師	遠藤 正彦	(えんどう まさひこ)
臨床研修医	窪田 大輔	(くぼた だいすけ)
臨床研修医	海老原 熊太	(えびはら ゆうた)
臨床研修医	岩崎 啓	(いわさき はじめ)

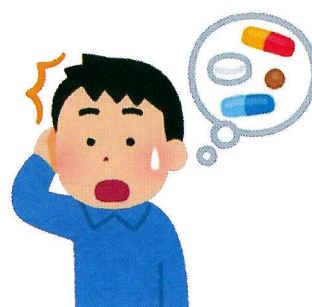
どうぞよろしくお願いいたします

「薬剤師の在宅訪問」利用のすすめ（2）

訪問薬剤師 外来療養支援室 林 彦光

前号では薬剤師が患者様宅を訪問する目的をお伝えしました。今回は実際にあった事例をもう一つお伝えしたいと考えます。

ある時、不整脈疾患のある患者様が、1日2回朝夕食後服用する薬のうち、夕分を忘れる事が多いため、1日1回の服用で済む薬への変更を担当医師へ提案したことがありました。しかし、服用回数を変更すると1日1回で済む反面、忘れると丸1日服用しないことになり危険であるとも言えます。結局は、疾患の重症度とのバランスを医師と相談する必要があり、変更したなら、薬剤師にはその危険性を踏まえて確実に服用頂く対応と責任が求められます。また不整脈がある場合、脈を整える薬が処方されると考えがちですが、医師は難治性の不整脈を整脈にするのではなく、脈の乱れから生じる血の塊が脳梗塞などを起こさないようにする血液凝固を抑える薬を出すこともあります。すると、



注意するのは脈の乱れではなく出血になりますが、この事を本人も含めて関わるスタッフは知っておく必要があります

骨折後の痛み止めだから、痛くなければ服用しなくて良いとも限りません。関節は動かさないと拘縮（関節の動かせる範囲が狭くなり、自由に動かすことができなくなる症状のこと）しやすいため、処方された間は痛くなくても痛み止めを服用頂きたい場合もあります。薬を急に中止したために状態が服用前より悪化するリバウンド現象が生じる薬剤もあります。

ガイドラインには、薬物有害作用を防ぐための一般的注意点や系統別指針のほかに、高齢者では可能な限り処方避ける、あるいは

優先的に処方中止する薬剤として 45 種類の薬剤（群）からなる「高齢者に対して特に慎重な投与を要する薬物のリスト」があります。その中には睡眠導入剤などの記載がありますが、医師は患者様のことを慮って薬を出すこともあり、逆に患者様は医師が処方してくれた薬だからと必死で服用しようとして悪循環ともいえる状態に陥ることもあります。しかし、このような医師の意図は、患者様やご家族、関わるスタッフが知らないことは少なくありません。逆に患者様の意図を医師が知らない事も少なくなく、そこで薬剤師の出番となります。医師が意図する事柄や患者様の思いについて、双方を探りすり合わせることで薬剤面からのよりよい療養生活に導くことができると私は考えています。



ご自宅でお薬を服用中の患者様は一度、服用中のお薬や服用状況を訪問薬剤師に見せて頂けませんか？見させて頂くことでご自宅での暮らしがより良いものになるかもしれません。

《介護をされている方へのご案内》

～小樽協会病院地域包括ケア病棟 レスパイト入院について～

ご家族の介護、お疲れ様です。毎日のことですから、「心身ともに疲れきっています。」という方もいることと思います。そんなあなたへのご案内です。

治療目的以外でも短期間、患者さんを当院に入院していただくことが可能です。“レスパイト入院”という制度です。「レスパイト」とは、「休息・息抜き」という意味ですが、文字通り介護者に休息をとっていただくための入院です。自宅でご家族の介護をいただいている方々にぜひ活用していただき、また自宅での生活を続けられるとよいですね。介護者の方の急な入院や一時的な旅行の場合、在宅酸素や経管栄養、点滴、自己注射などの医療行為を継続されていてショートステイになかなか入れないという方も対応可能です。外来看護師や2F 地域医療福祉連携室・患者支援センターにお気軽にお問い合わせください。

病院長

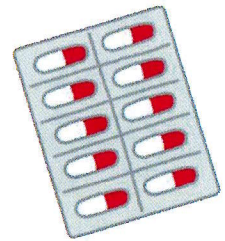


職場紹介

『薬剤科』

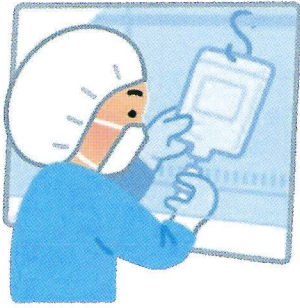
薬剤科長 小松 加奈

小樽協会病院薬剤科は、当院の理念である「患者さまに寄り添い良質でこころのかよった優しい医療」を基本精神に業務を行っております。メンバーは薬剤師 10 名、薬剤助手 1 名の計 11 名で構成されており、主に調剤業務、注射剤業務、病棟業務などを展開し、患者さまに質の高い安全な薬物療法を提供しております。



調剤業務としては、入院患者さまや一部の外来患者さまが使用する内用薬、外用薬の作成を行っております。薬の飲み合わせや用量などが適正である事を確認後、「錠剤自動分包機」という機械を使用し、服用時点ごとに薬を分包しております。薬を一包にまとめる事は服用しやすくなると同時に、飲み忘れや飲み間違いを防止し、患者さまの薬物療法の有効性・安全性の向上に繋がります。

注射剤業務は、主に入院患者さまの注射剤の調剤と調製を行っており、注射剤の払い出しには「注射剤自動払い出しシステム(アンプルピッカー)」を使用しています。アンプルピッカーからは注射剤と共に処方せん、氏名ラベル等がトレーに搬出されますので患者さま個人に 1 回施用単位で注射剤を調剤することが可能となり、病棟での取り揃え業務の軽減や、薬剤の取り間違い防止に役立っています。その後アンプルピッカーから搬出された薬剤を基に、薬剤師によって無菌的な環境下で注射剤の調製を行います。有効性は勿論、衛生面でも安心できる医療の提供を心掛けています。



また、当院では入院・外来患者さまの治療に使用される全ての抗がん剤を薬剤師が調製しております。抗がん剤は正確かつ無菌的な調製が求められるため、薬を熟知した薬剤師が調製することで、均一かつ質の高い医療の提供が可能となります。

さらに抗がん剤治療中の全ての患者さまに対し、投与スケジュールや投与量の管理、副作用の説明などについても薬剤師が行っており、安心安全な治療の一役を担っております。

病棟業務は病棟薬剤業務と薬剤管理指導業務に分けられますが、病棟薬剤業務は入院患者さまの情報を薬剤師の視点で把握し、医師や看護師と共有するところから始まります。初回面談では患者さまの服用状況や副作用歴、アレルギー歴の確認、自宅で服用していた薬の鑑別などを行い、必要に応じて医師へ処方設計や代替の薬を提案します。入院後に使用する薬に関しては、医薬品の適正使用のため、個々の患者さまに合った投与量等を計算し医師への提案や、注射剤の投与速度や配合変化などの情報を提供しております。病棟では薬剤師も回診やカンファレンスに参加し、服用状況や処方提案など情報を発信し、チーム医療に貢献しております。

薬剤管理指導業務では、患者さまのベットのサイドに伺い、服用中の内用薬や注射剤の説明・指導を行い、入院中は勿論退院後も継続して、効果的かつ安全な薬物治療が行われるよう取り組んでおります。



以上、当院における薬剤師の業務をご紹介しましたが、これからも患者さまに安心安全な医療を提供し、「患者さまファースト」で様々な業務に取り組んで参りたいと存じます。薬の事で何かお困りの事がございましたら、気軽に「1 階 薬剤科窓口」にお越しください。

編集後記：日中の温度も上がり、いよいよ夏本番の季節です。小樽も観光に訪れる人が増え、周りの会話が聞こえてくると、自分が海外にいるような気分になることも少なくありません。世界に小樽のいいところが広がるといいですね。

渡辺

小樽協会病院広報誌「つゆくさ」NO.71

発行：小樽協会病院広報委員会

発行日：令和6年6月

発行人：宮本 憲行

編集委員長：渡辺 直輝

【小樽協会病院 外来診療担当医師一覧】

令和6年7月1日

各診療科のご紹介予約は、地域医療福祉連携室にご連絡ください。

連携室直通TEL 0134-21-5717

FAX 0134-21-5718

病院代表TEL 0134-23-6234

<http://www.otarukyokai.or.jp>

		受付時間	月	火	水	木	金	土	備 考	
循環器科	午前	8:30～11:00 診療開始8:40	宮本 SAS外来	高木	長井	夏井	宮本 SAS外来	-	※心電図・ホルター心電図検査を してましたら、貸出しをお願いします。 水曜日午前は、不整脈専門外来 です。 (9:00診療開始)	
				山田	門坂	神林	山田			
	午後	12:00～15:00 診療開始13:00	-	夏井	高木	ペースメーカー 外来 (予約制)	宮本			
				宮本	門坂	神林	長井			
総合診療科	午前	8:30～11:00 診療開始9:00	吉田	-	-	-	-	-		
	午後	12:00～15:00 診療開始13:15	-	芹澤	-	-	-			
糖尿病専門	午前	8:30～10:30 診療開始9:00	森島	渥美	森島	山田	森島	-	火曜午前・水曜午後は新患の 受け付けはしておりません ※新患予約必要	
	午後	12:00～15:00 診療開始13:30	-	-	山田	-	-			
消化器内科	午前	8:30～11:00 診療開始9:00	-	-	-	-	-	-	外来: 月PM・水PM 検査: 月 木	
	午後	12:00～15:00 診療開始13:30	前佛	-	前佛	-	-			
呼吸器内科	午前	8:30～11:00 診療開始 9:00	石田	-	-	田上	南須原 (第3金のみ)	-	呼吸器内科新患は予約制です	
	午後		-	-	-	-	-			
血液内科	午前	8:30～11:00 診療開始 9:00	-	横山	-	-	-	-	*予約の際は、事前に診療情報提供 書・採血データのFAXをお願いします ます	
	午後	12:00～15:00 診療開始 13:00		横山						
外 科 呼吸器外科	午前	8:30～11:00 診療開始9:00	石川 (予約のみ)	第1・3・5週 田本 第2・4週 出張医	進藤 (予約のみ)	進藤 (予約のみ)	石川 (予約のみ)	-	※陥入爪は外科で対応します。	
			田本 進藤 乳腺専門外来 (予約のみ)	山崎	石川	阿部／吉見	進藤			
	午後				-	-	-	-		
整形外科	午前	8:30～10:00 診察開始8:40	後藤	-	橋本	後藤	後藤	-		
	午後	(月)12:00～15:00 (診察開始13:30)	後藤	-	-	-	橋本			
産婦人科	午前	8:30～ 11:00 診療開始 9:00	産科 婦人科	西森	高田	黒田	高田	完全予約 制(月2 ～3回)	※産婦人科の土曜診療について 土曜日診療の日程はホームペー ジ、電話にてお問い合わせ下さい。	
				黒田	西森	西森	西森			高田
	午後	12:30～ 15:00 診療開始 13:30	産科 婦人科	手術日	1ヶ月健診	西森	手術日	黒田		-
						黒田		高田		
専門外来			胎児精密超音波検査: 第1・3木曜日9:00～(詳細は外来へお問い合わせください)							
小 児 科 一般小児 予約不可	午前	8:30～11:00 診療開始8:40	辰巳	新谷	辰巳	辰巳	遠藤	-	※予防接種・乳児健診・健康相 談は完全予約制です。 ※混雑時は二診となる場合があ ります。	
	午後	12:00～15:00 診療開始13:30	遠藤 ※予防接種	※予防接種	新谷	遠藤	新谷			
				1・4ヶ月健診 健康相談	※予防接種	※予防接種	※予防接種			※予防接種
※予防接種・・・日本脳炎、四種混合、水痘、おたふく、BCG、MR、肺炎球菌、ヒブ、B型肝炎、 ロタテック、二種混合、五種混合、インフルエンザ 小児専門外来は、 小児科受診後の 完全予約制です										
放射線科	門外		○心臓専門外来(第2・第3水曜日) ○神経専門外来(第4火曜日) ○腎臓専門外来(第4木曜日) ○内分泌専門外来(第4水曜日) ○遺伝代謝専門外来(偶数月第1木曜日) ○アレルギー専門外来(第4月曜日)							
	午前		藤井	宝金	宝金	宝金	池辺	-	※一般外来は行っておりません。 CT・MRI検査ご依頼は、画像診断科へ お問い合わせください。	
	午後		宝金	宝金	宝金	宝金	宝金			

- ・休診日は、毎月、土曜日・日曜日・祝祭日です。・担当医の変更や休診のお知らせは、ホームページでご確認ください。
- ・CT・MRIの予約は画像診断科、健診の予約は医事課健診係で承ります。病院代表電話から各担当にご連絡ください。
- ・救急対応が必要な場合(急患)は、病院代表電話(0134-23-6234)から各診療科にご連絡ください。